

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
【主体的に学習に取り組む態度】	○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4	つないで、つないで、一つのお話 準備 伝わるかな、好きな食べ物／続けてみよう 帰り道 公共図書館を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき
5	聞いて、考えを深めよう 漢字の広場① 笑うから楽しい／時計の時間と心の時間／主張と事例
6	文の組み立て たのしみは 天地の文 情報と情報をつなげて伝えるとき
7	デジタル機器と私たち 夏のさかり 私と本／星空を届けたい
9	せんねん まんねん いちばん大事なものは インターネットでニュースを読もう 文章を推敲しよう 漢字の広場②
10	やまなし(イーハトーヴの夢) 漢字の広場③ 熟語の成り立ち 秋の深まり みんなで楽しく過ごすために(伝えにくいことを伝える) 話し言葉と書き言葉
11	古典芸能の世界／狂言「柿山伏」を楽しもう 『鳥獣戯画』を読む／調べた情報の使い方／日本文化を発信しよう カンジー博士の漢字学習の秘伝
12	漢字の広場④ ぼくのブック・ウーマン おすすめパンフレットを作ろう 冬のおとずれ
1	詩を朗読してしようかいしよう 知ってほしい、この名言 日本の文字文化 漢字の広場⑤ 「考える」とは 使える言葉にするために
2	日本語の特徴 大切にしたい言葉 今、私は、ぼくは
3	海の命 漢字の広場⑥ 中学校へつなげよう／生きる／人間は他の生物と何がちがうのか

〈授業の工夫〉	○お互いの立場や意図を明確にしながらかし合ったり、自分の考えと比較しながら聞いたりして、楽しんで表現することができるよう言語活動を工夫します。 ○テストの結果だけではなく、学習過程における児童のよい点や可能性、工夫したことや努力したこと、進歩の状況などを評価し、意欲をもたせる工夫をします。
〈評価について〉	○言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか。 ○日常生活における人となとの関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか。 ○言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか。 以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや少人数での提出物、授業での発言内容、作文、発表、話し合い活動の様子などを基に評価します。
〈学習方法など〉	○漢字の定着を図るため、漢字ドリルや漢字学習ノートを使います。 ○進んで読書ができるよう、学校図書館を活用します。週1回、朝読書の時間を設けます。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

月	学 習 内 容
4	1ともに生きる暮らしと政治 1 憲法とわたしたちの暮らし
5	2わたしたちの暮らしを支える政治
6	2日本の歴史 1国づくりへの歩み
7	2大陸に学んだ国づくり
9	3武士の政治が始まる
10	4室町文化と力を付ける人々
11	5全国統一への動き
12	6幕府の政治と人々の暮らし
1	7新しい文化と学問
2	8明治の新しい国づくり
3	9近代国家を目ざして
4	10戦争と人々の暮らし
5	11平和で豊かな暮らしを目ざして
6	3世界の中の日本 1日本とつながりの深い国
7	2地球規模の課題の解決と国際協力

〈授業の工夫〉	○見学や調査、ICTや図書資料を活用して問題を解決する調べ学習を行い、調べたことを表現する場面を作っていきます。 ○日常生活と政治の動きの関係を理解するために、身近な公共施設を調べる学習活動を展開します。
〈評価について〉	○单元ごとのテストやワークシートなどをもとに、我が国の政治の考え方や仕組みや社会の発展に大きな働きをした先人の業績を踏まえて、大まかな歴史を理解しているかを評価します。 ○発言や話し合い活動で考えたことや選択・判断したことを説明したり、議論したりする力を評価します。 ○ノートやワークシートの記述から社会的事象について主体的に学習の問題を解決しようとする態度を評価します。
〈学習方法など〉	○テレビや新聞で、政治や歴史、他の国々について流れる情報について関心がもてるような働きかけをします。 ○知識を記憶するのではなく、歴史の事象の原因や理由を自分で考えることができるようにします。 ○調べ学習、インターネットの利用などから情報を得る活動を通して、国際社会における日本の役割について考えられるようにします。

年 間 学 習 目 標	
【知識及び技能】	○分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に
【主体的に学習に取り組む態度】	○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4	1. 対称な図形
5	2. 文字と式
6	3. 分数×整数、分数÷整数、分数×分数 4. 分数÷分数 ★分数の倍 ★どんな計算になるのかな？ ☆おぼえているかな
7	5. 比 ☆おぼえているかな？ ★算数で読みとこう
9	6. 拡大図と縮図 7. データの調べ方 8. 円の面積 ☆おぼえているかな？
10	9. 角柱と円柱の体積 10. およその面積と体積 ☆おぼえているかな？ ★考える力をのばそう
11	11. 比例と反比例
12	12. 並べ方と組み合わせ方 ★算数で読みとこう
1	★データを使って生活を見直そう
2	13. 算数のしあげ
3	★算数卒業旅行

〈授業の工夫〉	○技能の習熟や維持を図るために適宜練習の機会を設けて、計画的に指導します。 ○事象の観察とともに既習事項との関連を意識させ算数の学習場面から問題を見だし、問題解決の思考対象を明確にして主体的に解決を図れるようにします。 ○図や式などを活用して問題解決の過程やその結果を分かりやすく表現し、他者と伝え合いながらよりよいものを求めて粘り強く考えられるようにします。
〈評価について〉	○基本的な数量や図形の意味及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解しているか、小学校での算数の学習で身に付けた技能を生かしながら、適切な数理的な処理や表現ができ、発展的な場面においても活用可能な技能になっているか。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」で身に付ける力を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりしているか。 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えているか、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しているか、問題解決の結果を常に評価・改善し続けようとしているか。 以上のことを単元ごとのテストや学習の様子、発表、ノートのとおり方やコンパス、定規の使い方、計算ドリルなどを基に評価します。
〈学習方法など〉	○対称の図形や速さの求め方など、理解の定着に時間のかかる分野は継続的に復習します。 ○表やグラフの読み取りなど、日常の場面で算数で学んだことを活用します。 ○個に応じた指導を行うため、学習内容ごとにレディネステストの結果をもとに習熟度別少人数指導を実施します。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	物質・エネルギー ○燃焼の仕組み, 水溶液の性質, てこの規則性及び電気の性質や働きについての理解を図り, 観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 生命・地球 ○生物の体のつくりと働き, 生物と環境との関わり, 土地のつくりと変化, 月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り, 観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	物質・エネルギー ○燃焼の仕組み, 水溶液の性質, てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で, 主にそれらの仕組みや性質, 規則性及び働きについて, より妥当な考えをつくりだす力を養う。 生命・地球 ○生物の体のつくりと働き, 生物と環境との関わり, 土地のつくりと変化, 月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で, 主にそれらの働きや関わり, 変化及び関係について, より妥当な考えをつくりだす力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	物質・エネルギー ○燃焼の仕組み, 水溶液の性質, てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で, 主体的に問題解決しようとする態度を養う。 生命・地球 ○生物の体のつくりと働き, 生物と環境との関わり, 土地のつくりと変化, 月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で, 生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4	ものの燃え方
5	植物の体のつくりとはたらき①
6	人や他の動物の体のつくりとはたらき 植物の体のつくりとはたらき②
7	生物と地球環境
9	月と太陽
	水よう液の性質
10	土地のつくりと変化
11・12	てこのはたらき
1	私たちの生活と電気
2・3	かけがえのない地球環境

〈授業の工夫〉	○理科における資質・能力を育むために主体的に活動することができるようにします。 ○単に実験の結果を覚えるだけの活動とならないよう, 子供が主体的, 協働的, 対話的になる学習過程として, ①問題の見いだし②見通しの発想③解決方法の発想④結果の整理⑤考察 と道筋に沿って学習を進めます。 ○「違いを見付ける」「既習事項と関係付ける」「問題や見通しと, 結果の一致, 不一致を判断する」といった学びの『すべ』を獲得していくことができるよう, 問題解決の過程を適切に指導します。 ○指導内容に応じて, タブレットや視聴覚機器を活用して指導します。
〈評価について〉	○单元ごとの評価テストと合わせて, ノート記述や観察シート, 実験レポート, 実験計画書などをもとに評価します。 ○条件を制御しながら調べる活動を通して, 予想や仮説を基に, 解決方法を発想し, 表現したことを評価します。 ○観察や実験に対する態度や発言などから主体的に問題解決しようとする態度, 生命を愛護する態度を評価します。また, 安全面に配慮して取り組んでいるかも評価します。
〈学習方法など〉	○学習の成果と日常生活との関連を図り, 自然の事物・現象について実感を伴って理解できるようにします。 ○テレビや新聞などで流れる自然や環境についての情報に関心をもたせ, 自然環境を大切に, 保全に寄与しようとする態度を育成します。そのために, 環境などに関する催し物や科学館などについても紹介します。 ○タブレットを活用し, 視覚的に学んでいきます。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲の演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
【主体的に学習に取り組む態度】	○主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4・5	○歌声をひびかせて心をつなげよう ペガサス・おぼろ月夜
6	○いろいろな音色を感じ取ろう ラバーズ コンチェルト 木星
7	われは海の子 ボイスアンサンブル
9	○いろいろな和音のひびきを感じ取ろう 星の世界 雨のうた 和音の音で旋律づくり
10・11	○曲想の変化を感じ取ろう 思い出のメロディー ハンガリー舞曲 第5番
12	○詩と音楽の関わりを味わおう 滝廉太郎の歌曲 ふるさと
1・2	○日本や世界の音楽に親しもう 越天楽今様 雅楽「越天楽」 世界の国々の音楽
3	○音楽で思いを伝えよう きっと届ける・メヌエット 卒業式の曲 君が代

〈授業の工夫〉	○自分の表したい音楽表現ができるように、段階的に学習します。 ○様々な音楽に親しみ、曲や演奏のよさを得られる教材を用意します。また、タブレットPCを演奏手段の一つとして使用します。 ○友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を主体的に伝え合う場を多く設定します。
〈評価について〉	○題材の表現や技能だけでなく、主体的に音楽活動に取り組んでいるかを評価します。 ○音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を評価します。 ○友達との音楽活動を楽しみながら主体的に取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方を認めたりする様子を評価します。
〈学習方法など〉	○グループやペアでの活動を取り入れ、友だちの演奏を聴き合うことができるようにします。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解している。 材料や用具を活用し、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。
【思考力・判断力・表現力等】	○形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考えとともに、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりしている。
【主体的に学習に取り組む態度】	○つくりだす喜びを味わい主体的に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

月	学 習 内 容
4	想像する力 オリエンテーション おもしろ筆
5	墨と水から広がる世界 ここから見ると
6	光の形
7	くるくるクランク
9	音のする絵
10	自然を感じるすてきな場所で (選択) 落ち葉の庭で (選択) 海の近くの砂浜で (選択) 風の通り道 (選択) 白い世界で
11	わたしの大切な風景
12	1 まいの板から 1 わたしの感じる和 2 ドリーム・プロジェクト 3 未来のわたし
〈授業の工夫〉	○主体的に造形活動に取り組めるように、目標を明確に示していきます。 ○各学年の発達段階を捉え、題材を組み立て、表現の楽しさを味わえるようにしていきます。
〈評価について〉	○一人一人の活動の様子や作品の制作過程を見ていきます。 ○一人一人が見方や感じ方を広げていけるように感想を書いたり自己評価を行ったりしていきます。
〈学習方法など〉	○道具や材料の活用や友達との学び合いを通して、自らの表現を深めることにつなげられるようにします。

年 間 学 習 目 標	
【知識及び技能】	○家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

月	学 習 内 容
4	1 わたしの生活時間□ (2時間) 2 いためてつくろう□ 朝食のおかず□ (8時間)
5	3 クリーン大作戦□ (5時間)
6・7	4 暑い季節を快適に□ (7時間)
9・10	5 楽しく ソーイング□ (10時間)
11・12	6 くふうしよう□ おいしい食事□ (12時間)
1・2・3	7 共に生きる生活□ (10時間) 成長したわたしたち中学生に向かって□(1時間)

〈授業の工夫〉	○学校生活だけでなく、家庭生活においても学習したことを生かし、よりよい生活にするための工夫した行動ができるよう、学習内容を広げていきます。
〈評価について〉	○家族や家庭、衣食住、消費や環境など日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能については、単元ごとのワークシートやテスト、実習や作品で評価します。 ○日常生活の中から課題や解決方法を考え、実践し、生活をよりよくしていこうとする思考・判断力・表現力等は、授業中の発言内容やワークシート、テストで評価します。 ○家庭生活などの大切さに気付き、家族や地域の一員として生活をよりよくしようとする学びに向かう力や人間性等は、授業中の発言内容や制作、実習時の態度、普段の学習の様子で評価します。
〈学習方法など〉	○学習したことを家庭で生かしたり、調理や掃除などを家庭学習で取り組ませたりして、進んで家庭の仕事をする子供の育成をめざしていきます。

	年 間 学 習 目 標
【知識及び技能】	○各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。

月	学 習 内 容
4	体ほぐしの運動 短距離走・リレー
5	鉄棒運動 表現運動
6	ソフトバレーボール(ネット型)
7	水泳運動
9	踊る!思い出の○○(表現) マット運動
10	バスケットボール(ゴール型)
11	走り高跳び 保健・病気の予防 跳び箱運動
12	体の動きを高める運動
1	ハードル走
2	保健・病気の予防
3	フリーゾーンサッカー(ゴール型)

〈授業の工夫〉	○基礎的な体力や運動感覚を身に付けるための運動を繰り返し行います。 ○自分に適した課題をもつと同時に、友達と協力して課題解決に取り組めるような場面を設定し、共に学び合う授業づくりをします。 ○勝敗や競争(走)を取り入れたり、学習カードなどに記録を記載したりすることで技能の
〈評価について〉	○運動技能や知識についての評価のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を評価します。 ○学習カードを用いて、自分の学習を振り返ったり、課題を見付けたりするような自己評価、友達同士の相互評価を行います。 ○約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりする様子も観察し、評価します。
〈学習方法など〉	○長なわ跳び月間、マラソン月間を設け、体力づくりを行います。 ○授業時間は運動量をしっかり確保します。ICT機器や教材を用いながら自己の課題をつかみ、課題にあった練習方法や練習の場を選択することで課題解決に取り組めます。また、動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝える活動を取り入れ、学び合いの時間を大切にします。

年 間 学 習 目 標	
目 標	(「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
第5学年及び第6学年重点目標	○相手の考え方や立場を理解して支え合い集団生活の充実に努めること ○法やきまりの意義を理解し、責任ある行動をとること ○伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること

月	学 習 内 容
4	D(22) よりよく生きる喜び A(4) 個性の伸長 A(5) 希望と勇気, 努力と強い意志
5	A(3) 節度, 節制 B(9) 礼儀 C(16) よりよい学校生活, 集団生活の充実
6	C(13) 公正, 公平, 社会正義 B(11) 相互理解, 寛容 B(10) 友情, 信頼 B(7) 親切, 思いやり
7	D(20) 自然愛護 D(19) 生命の尊さ C(12) 規則の尊重
9	A(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任 A(2) 正直, 誠実 B(11) 相互理解, 寛容
10	B(10) 友情, 信頼 C(16) よりよい学校生活, 集団生活の充実 C(15) 家族愛, 家庭生活の充実 C(12) 規則の尊重
11	B(7) 親切, 思いやり C(17) 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 C(14) 勤労, 公共の精神 D(21) 感動, 畏敬の念
12	D(19) 生命の尊さ B(8) 感謝 C(18) 国際理解, 国際親善
1	D(19) 生命の尊さ C(13) 公正, 公平, 社会正義 C(18) 国際理解, 国際親善
2	A(6) 真理の探究 A(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任 A(5) 希望と勇気, 努力と強い意志
3	B(8) 感謝 D(22) よりよく生きる喜び

〈授業の工夫〉	○道徳の授業では、生活経験の異なる児童一人一人が教材文の登場人物の生き方について話し合っていることを通して、自己の生き方についての考えを深めていくことを大切にします。
〈評価について〉	○道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発言や話し合いの様子、ノートへの記述をもとに肯定的評価を
〈学習方法など〉	教科書とノートを使って学習します。 学習の流れ ①教材文の状況を把握する②登場人物の思いを共通理解する③授業の中心で考えさせたいこと(場面)について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。

令和6年度 第6学年（外国語）年間学習計画

年 間 学 習 目 標	
【知識及び技能】	○外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】	○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

月	学 習 内 容
4	Unit1 This is me!
5	Unit2 Weicome to Japan 英語になった日本語
6・7	Unit3 What time do you get up? 世界の友達
9	Unit4 My Summer Vacations
10	Unit5 We live together.
11	文の組み立て Unit6 I want go to Italy.
12	世界の友達
1	Unit7 My Dream 相手の心に届くスピーチ
2	Unit8 My Best Memory 世界の友達
3	Kurikindi
〈授業の工夫〉	
○音声でのコミュニケーションに使う英語表現に慣れ親しむことで目的や場面、状況に応じた英語表現を活用できる児童をめざします。 ○担任と英語指導アシスタントが協力し、主にコミュニケーション能力の育成をめざします。	
〈評価について〉	
○活動の様子や振り返りカードから聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉を使って話そうとしているか、正しいアルファベットを使って書くことができているかななどを評価する。	
〈学習方法など〉	
○外国語では、積極的に発話することや読むこと、書くことで、実践的なコミュニケーション能力が養われます。学習した英単語や簡単な英語表現を生活の中で活用する機会を多く設けます。	